令和４年度　事業報告書

１．概　況

令和４年度は、急激な円安やウクライナ情勢等による諸物価高騰や繰り返す新型コロナ感染症拡大などの社会経済状況の変化により、新宿区シルバー人材センター（以下「センター」といいます。）が推進する就業活動や社会参画活動などに大きな影響を受けた一年でした。

センターは、コロナ禍における経営方針に基づき、会員の安全・安心を第一に同感染症防止策を徹底しながら「会員の拡大と資質の向上」および「就業機会の拡大」「地域社会への貢献活動」これらを支える「安全就業の徹底」「周知活動の強化」「組織基盤の強化」の事業や活動を進めてきました。

センターを取巻く社会経済状況が変化するなかで、会員の入会促進や就業先の開拓・拡大などに積極的に取り組むとともに、ボランティアなど地域貢献活動も再開しました。また、令和４年12月にはセンターが事業や活動を計画的かつ総合的に実施して継続的に発展していくため第５次経営計画（計画期間：令和５～９年度）を策定するとともに、令和５年10月１日からの消費税に係る適格請求書等保存方式（インボイス制度）導入による新たな納税負担へ対応するため契約料金の引き上げなどに取り組みました。

令和４年度の事業については、周知活動として「まあるい」等の機関紙の発行やYouTube等のインターネットの活用、ＰＲチラシの新聞折込みなどを行いました。会員の拡大としては、対面による入会説明会と就業相談会、及びインターネットによる説明会を実施しました。就業機会の拡大では、就業開拓専門員によるポスティングや訪問営業活動等とともに、就業に向けた出張相談や個別相談会等を実施しました。また、安全就業の徹底については、安全就業パトロールの実施とともに会員の適切な健康管理等の呼び掛けを行いました。地域社会への貢献活動では、新宿区主催のボランティア等を中心に徐々に再開しています。

受託事業の実績については、契約金額が民間事業者からの受注増加により約６億9,890万円で、前年度比6.4%の増加でした。契約件数は家事援助サービス事業等の減少により11,089件で、前年度比1.4%の減少でした。また、会員数は、年度末時点で病気や死亡等を理由に236名が退会しましたが259名の入会により、前年度比23名増加の1,717名でした。

令和４年度の事業実績については、会員数が着実に増加するとともに、受託事業実績や地域貢献活動などがコロナ禍前の水準に至らないものの近づきつつあることから、今後のセンターの継続的な発展につながるものであると考えています。

令和４年度事業の実施結果について、次のとおり報告いたします。

２．周知活動の強化

(1) 普及啓発活動等実施状況

「総合パンフレット」と「クリアファイル」のリニューアルを行ないセンターイメージの洗練を図りました。

「まあるい」の刊行は例年どおり 4 回に戻すとともに、3 月号は本編と別冊の事業計画との 2 部構成とし、会員や区民の皆様に分かりやすく改善しました。

新聞折込みは回数を昨年度 2 回から 6 回に増やし、会員数増加や契約金額増加につなげました。

Ｐ　Ｒ　方　法	実　施　内　容	実施回数
印刷物の作成	イメージカラーである赤色を用いた、事業全般に関するチラシ、単価表、ポスターを作成	随時
機関紙の発行	「まあるい」の発行・全会員等に配付	4 回
会報の発行	「事務局だより」の発行・全会員配付	12 回
区広報の活用	「広報しんじゅく」に入会募集及び受講生募集等掲載	13 回
ホームページの活用	センター事業等の周知及び受注状況一覧を掲載 ネット入会説明会システム実施 ネット受注システム実施	常時
ポスター掲示 PR しおりの配置	ポスターを区施設・町会掲示板に掲示 ＱＲコード入りしおりを図書館に配置	随時
YouTube チャンネルの設置	YouTube 上に「公益社団法人新宿区シルバー人材センター」チャンネルを公開	常時
LINE 公式アカウントの設置	センター会員を対象に事業周知を実施	7 回
個人へのチラシ配布	イベントに参加し、センターＰＲチラシおよび手づくりショップ・ふれあい、らくらくリフォームウエア、家事援助等各種事業チラシを配布	8 回
法人へのチラシ配布	新宿法人会と連携し、新宿法人会会報に仕事募集チラシを同封し配布 計 6,000 部	7 月号 11 月号
就業開拓訪問活動	企業や町会等の地域関係者を訪問し、ＰＲ、受注案内を実施、一般家庭へポスティング実施：約 2 万 7 千部	269 事業所 239 町会等
玄関前掲示板掲出	自主事業チラシ、作品掲出及びチラシ入れの活用	4～3 月
新聞折込み	センター事業ＰＲチラシを区内対象に折込み 計 265,250 部	6 回
デジタルサイネージ	新宿区役所本庁舎及び特別出張所で実施	6 回

(2) イベント等への参加状況

イ　ベ　ン　ト　名	参 加 年 月 日	参　加　場　所	参加者数
レガスまつり 2022	令和 4 年 4 月 2 日	新宿コズミックセンター	11
シニアしごと EXPO	令和 4 年 10 月 4 日	新宿 NS ビル	5
新宿スポレク祭	令和 4 年 10 月 10 日	新宿コズミックセンター	15
四谷ふれあい祭	令和 4 年 10 月 23 日	四谷地域センター	4
榎町地域センターまつり	令和 4 年 10 月 23 日	榎町地域センター	7
ユリノキテラス 2022	令和 4 年 11 月 12 日	内閣府迎賓館	5
「多様な働き方」セミナー	令和 4 年 12 月 15 日	新宿ここ・から広場しごと棟	2
第 29 回牛込箪笥地域まつり	令和 5 年 1 月 29 日	箪笥地域センター	7
四谷ふれあい祭	令和 5 年 3 月 26 日	四谷地域センター	5

３．会員の拡大と資質の向上

(1) 会員拡大

対面入会説明会(32 回開催)及び地域説明会(3 回開催)、ネット入会説明会(常時開催)等を実施しました。令和 4 年度末の会員数は、前年度比で 23 人、1.4%の増で令和 5 年 3 月 31 日現在 1,717 人です。

会員	4 年度			3 年度			差　　引		
	入会者	退会者	年度末	入会者	退会者	年度末	入会者	退会者	年度末
男(人)	129	116	993	115	101	980	14	15	13
女(人)	130	120	724	103	93	714	27	27	10
計(人)	259	236	1717	218	194	1694	41	42	23

(2) 資質の向上(会員研修、職員研修)

会員及び職員の資質を向上するために、研修の実施及び参加を推進している。

区　分	研　　修　　内　　容	実施回数	受講者数
センター研修	新入会員研修(接遇研修)	31 回	258 名
	就業会員研修(接遇・安全就業研修等)	10 回	70 名
	家事援助接遇研修	2 回	17 名
	生活援助員研修（新宿区主催）	3 回	21 名
	PC スキルチェック	2 回	29 名
第 3 ブロック合同研修 中野区・杉並区 板橋区・豊島区 練馬区・新宿区	代表理事等会議 「会員の事故防止と健康管理につて」	1 回	3 名
	役員研修「65 歳からの疾病予防と健康対策」	1 回	8 名
	会員研修「接遇力向上研修」	1 回	6 名
	安全就業研修「KY 活動、健康管理の徹底」	1 回	8 名

４．就業機会の拡大

長引くコロナ禍の中で、「ネット受注」や就業開拓専門員による「お仕事募集」の訪問営業、PR チラシの新聞折込みなどにより受注拡大を図りました。

(1) 就業実績(請負)

就業実人員及び就業率ともコロナ禍前の水準には回復していませんが、コロナ禍である前年度に比べて、それぞれ増加しました。

項　目	4 年度	3 年度	差　引	増 減 率
年度末会員数(人)	1,717	1,694	23	1.4%
就業実人員（人）	1,175	1,145	30	2.7%
就業率（%）	68.4%	67.6%	0.8%	

(2) 就業相談

センター事務所での個別就業相談会及び10 地区の特別出張所で出張相談を実施しました。

相談会名	実施回数等	参加者数
対面入会説明会	32 回(毎月開催)	222 名
地域説明会	3 回開催(10 月)	28 名
ネット入会説明会	常　時	72 名
個別就業相談会	16 回(毎月開催)	227 名
出張相談(10 ヵ所)	40 回(5～7.9.10.12.2.3 月)	284 名

(3) シルバー派遣事業

派遣事業の案内チラシの送付や就業開拓専門員による訪問営業、「ネット受注」の活用など就業先拡大に取り組み、受託件数および契約金額とも前年度比で大幅に増加しました。

項　目	4 年度	3 年度	差引	増減率
受託件数(件)	118	83	35	42.1%
就業実人員(人)	55	45	10	22.2%
就業延人員(人)	5,194	4,275	919	21.4%
契約金額(円)	36,383,352	30,228,399	6,154,953	20.3%

(4) 自主事業

実施規模や時間等がコロナ禍前の水準に戻っていませんが、休講等することなく開講等ができたことやイベントへの参加などにより前年度に比べて大幅に増加しました。

（単位：円）

項　　目	4年度	3年度	差　引	増減率
パソコン教室	1,014,000	155,000	859,000	554.2%
書道教室	1,136,000	816,000	320,000	39.2%
手編み教室	241,500	184,500	57,000	30.9%
ここ・から英会話	1,506,000	834,100	671,900	80.6%
らくらくリフォームウエア	3,213,560	2,094,736	1,118,824	53.4%
手づくりショップ・ふれあい	1,149,620	874,630	274,990	31.4%
合　計	8,260,680	4,958,966	3,301,714	66.6%

(5) 事業実績

①受託事業

受託件数・契約金額ともコロナ禍前の水準には戻っていません。受託件数は家事援助・育児支援サービス事業の減によりコロナ禍であった前年度比でも1.4%減でした。契約金額は前年度比で公共事業が 2.0%の減、民間事業が13.9%増で、公共と民間を併せた全体は6.4%増でした。

（家事援助・育児支援サービス事業を含む。）

事業別	受託件数（件）				契約金額（円）			
	4年度	3年度	差引	増減率	4年度	3年度	差引	増減率
公共事業	291	291	0	0%	306,701,761	312,815,732	△6,113,971	△2.0%
民間事業計	10,798	10,957	△159	△1.5%	392,220,211	344,268,332	47,951,879	13.9%
企業	5,292	5,313	△21	△0.4%	317,667,450	270,417,850	47,249,600	17.4%
家庭	5,436	5,595	△159	△2.8%	66,292,081	68,891,516	△2,599,435	△3.8%
自主	70	49	21	42.9%	8,260,680	4,958,966	3,301,714	66.6%
合　計	11,089	11,248	△159	△1.4%	698,921,972	657,084,064	41,837,908	6.4%

②家事援助等サービス事業

家事援助・育児支援サービス事業は、コロナ禍であった前年度比で、受託件数が8.2%減、契約金額が11.8%減でした。また生活援助サービス事業は、前年度比で受託件数が2.5%減、契約金額が7.1%減でした。

	家事援助・育児支援サービス				生活援助サービス			
	4年度	3年度	差引	増減率	4年度	3年度	差引	増減率
受託件数（件）	1,829	1,992	△163	△8.2%	629	645	△16	△2.5%
就業実人員（人）	99	106	△7	△6.6%	32	40	△8	△20.0%
就業延人員（人）	7,887	8,993	△1,106	△12.3%	2,602	2,799	△197	△7.0%
契約金額（千円）	25,169	28,524	△3,355	△11.8%	4,180	4,501	△321	△7.1%

(6) 適正就業の促進

・適正就業の徹底

就業開拓専門員及び職員による就業現場の巡回を行い、発注者及び会員に適正就業について周知・説明することで適正就業を徹底しました。

・公平な就業機会の提供

ローテーション就業やワークシェアリングを推進しました。

・適正就業ガイドラインの周知

センターホームページに「適正就業ガイドライン」掲載しました。

・東京しごと財団よる適正就業ガイドライン(オンライン)研修の開催

センター役員等８名が参加しました。

５．安全就業の徹底

(1) 安全就業活動実施状況

機材の点検や安全就業関連冊子の会員への配付とともに、シルバー100トレの会の立ち上げなど会員の健康増進に取り組みました。また、７月を「安全就業強化月間」と定めるとともに、安全就業標語の募集等を行うことで安全就業の啓発を行いました。

項目・テーマ	実施回数	講師等	実施場所等	参加者数
植木用機材の定期点検	13回	事務局	シルバー人材センター	15名
安全就業だより発行	12回	事務局	全会員に配付	—
転倒事故予防冊子の配付	31回	事務局	新入会員に配付	—
改訂版転倒事故予防冊子の配付	1回	事務局	全会員に郵送	—
安全大会	1回	新宿警察署署員	牛込箪笥区民ホール	73名

普通救命講習会	3 回	東京防災救急協会指導員	シルバー人材センター	28 名
シルバー100 トレの会	8 回	新宿区健康づくり課	シルバー人材センター	79 名
令和５年度安全就業標語募集・選定	1 回	安全委員会	「見落すな　そこに段差が　階段が」 「無理しない　体調管理　優先し」	応募者 13 名 作品 25 点
自転車用ヘルメットの購入助成	通年	事務局	ヘルメット購入会員に助成	29 名

(2) 安全就業パトロール

安全委員会委員による安全就業パトロールを、新規契約先現場、パトロール未実施現場を中心に実施し、事故防止に取り組みました。

パトロールした５９件で安全意識、服装・保護具、作業環境、作業用具等、共同作業、緊急時対応、健康管理、コロナ対策の８項目の安全就業チェックを行いました。

(3) 感染症予防対策

コロナ等感染症予防対策として、体温測定器を事務局に配置し、電子体温計、クールタオルを購入して、就業会員 1,108 名に配付しました。

(4) シルバー保険

令和４年度の傷害事故１７件のうち４件が転落事故でした。また就業途上事故の６件は前年度に比べ減少しましたが、そのうち自転車走行事故が４件で割合が高い結果となりました。

損害賠償責任事故については１件と、前年度と比べ大幅に減少しました。

今後も慌てない安全第一の行動とともに、自転車事故が減少するよう、交通ルールや安全意識の普及啓発に努めていきます。

項　　目		４年度	３年度	差　引
傷害事故　計（件）		17	21	△4
	就業中	11	10	1
	就業途上	6	11	△5
損害賠償責任事故（件）		1	6	△5
合　計（件）		18	27	△9

６．地域社会への貢献活動

(1)ボランティア等への参加状況

コロナ感染症の拡大により、令和３年度まで全てのボランティアを中止していましたが、令和４年度からは新宿区等主催のボランティアを中心に再開しました。また、新たにボランティアキャップを作製し、新デザインとなったボランティアジャンパーと併せてボランティア従事会員に配布しました。

項　目	実施回数	参加者	備　考
ごみゼロ運動	４回	31 名	秋４地区
東京マラソン祭り 2023	１回	５名	防衛省前沿道の観客 誘導案内
新宿シティハーフマラソン	１回	12 名	沿道の案内及び･給水
新宿年末クリーン大作戦	１回	11 名	新宿駅周辺の道路清掃

コロナ感染症拡大防止の為中止	
防犯パトロール	ボランティア強化月間事業 ここ・からまつり防犯パトロール
お手玉作り	ここ・からまつり お手玉体験ボランティア
センター周辺の道路清掃	新宿打ち水大作戦
地域班による道路美化清掃 （四谷・戸塚・落合第一・落合第二地区）	放置自転車クリーンキャンペーン
使用済み切手収集	ポイ捨て防止 路上喫煙禁止キャンペーン

(2) 令和４年度ここ・からまつり実施状況

令和４年度ここ･からまつりはコロナ感染症の拡大防止のため中止となりました。

７．組織基盤の強化

(1) 自主自立の組織運営

定時総会 新宿区立新宿文化センター大ホール	6 月 22 日(水)	参加者 1,137 名 (委任状提出者等含む)

定時総会については、コロナ感染症の拡大が懸念されたことから、会員の安全確保を最優先に開催しました。

(会場出席者 31 名、委任状提出者 922 名、議決権行使書提出者数 184 名)

項 目	規模等
理事会	定例 12 回・臨時 1 回
事業委員会	12 回
広報委員会	6 回
社会参画委員会	5 回
安全委員会	11 回
家事援助・育児支援事業開拓分科会	4 回
自主事業運営分科会	5 回
世話役会議	1 回
班長会議	3 回

(2) 事務局機能の強化

正規職員 10 名(事務局長 1 名、次長 1 名、次長補佐 1 名、常勤職員 7 名)
嘱託職員 7 名、臨時職員 9 名、派遣職員 1 名　計 27 名

・センター事業に関する情報収集と情報発信に努めました。
・経費の節減及び効率的な経営に努めました。
・インボイス制度導入への対応
　会員、発注者に対して制度内容を周知しました。
　新たな納税負担へ対応するため契約金額引上げ等を検討しました。
・第５次経営計画を策定しました。
・課長会の定期開催など、事務局内の情報共有体制を整備しました。
・入会説明会等及び会議用のノートパソコンを２台購入しました。

事業報告の附属明細書

令和４年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項」及び「定款第 40 条第 1 項第 2 号」に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

公益社団法人新宿区シルバー人材センター　会長　保　髙　健　彦